

令和元年度 国本中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤とし、豊かな人間性をもち、意欲をもって主体的に生きていくことができる心身ともに健康でたくましい児童の育成

☆ 心豊かで思いやりのある子ども（やさしく）

☆ 自ら学ぶ子ども（かしこく）

☆ 明るく元気な子ども（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

（１） 社会の変化に柔軟に対応する資質・能力をもち、心身ともに健康な児童の育成のために、全職員が校務分掌を分担し、一致協力して学校経営にあたる。

（２） 地域の教育力や、学校のもつ環境資源を生かした教育活動を効果的に実践し、地域・家庭・学校園と連携しながら、社会に開かれた教育課程の具現化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（１） 「学力の基礎・基本」の確実な定着による学力の向上（かしこく）

○読む力・書く力・聞く力・話す力の確実な定着を目指した授業の改善

・対話型の学びの中で主体的に課題を解決していく力の育成

・読解力の育成を図る学習の充実

・家庭と連携した家庭学習の習慣化

・学力調査の結果を生かしたPDCAサイクルの構築

（２） 心の教育の充実による自己有用感の育成（やさしく）

・宮っ子心の教育を核とした人権尊重の教育の推進

・物事の多面性を理解し、自己を深く見つめる道徳教育の推進

○児童の自信と自己有用感を高めるための認め励ます学級経営

・「学校いじめ防止基本方針」を生かしたいじめを生まない指導の充実

・不登校を防ぐための組織的対応

（３） 体力の向上と健康・安全意識の高揚（たくましく）

○体力向上のための多様な運動に取り組む運動機会の確保と方法の工夫

・健康・安全な生活のための能力の育成

・家庭と連携した望ましい食習慣の育成

・学校教育全体を通した危険予測と危険回避能力の育成

（４） 教職員の資質向上を目指す取組

・PDCAサイクルによる教育活動の評価と改善

・信頼される教職員を目指した各種研修の充実

・教職員評価を生かした個人研修の充実

（５） 地域とともにある学校づくりの推進

○学校と地域が情報を共有し、児童の健全育成を図る連携を強化

・地域教育資源（人・物・場所）を効果的に活用した体験活動による郷土愛の涵養

（６） 教員の働き方改革の推進

・教員の業務内容の見直しと勤務時間の適正化

[国本地域学校園教育ビジョン]

「自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子」 ～地域とともにある学校をめざして～

4 教育課程編成の方針

- (1) 保護者や地域に信頼される学校教育の展開
- (2) 確かな学力と健康・体力を育む教育の充実
- (3) 本校の特色ある活動を生かした豊かな心と社会性を育む教育の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- 豊かな環境と地域教育力を活用した誰もが安心して学べる活力ある学校づくりの推進
 - ・安全な学校づくり
 - ・児童が安心して楽しく過ごせる学校づくり
 - ・学力の向上を目指す学校づくり

【児童生徒指導】

- 学業指導の徹底による学びに向かう集団の育成
 - ・すべての児童にとって居がいのある温かい雰囲気 of 学級経営の実践

【学習指導】

- 自他を大切にし、共に学ぶ児童の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- 自分の体に関心を持ち、進んで健康・体力の向上に努める児童の育成
 - ・教科体育・保健指導の充実と運動の日常化

【教職員の業務内容・勤務時間の適正化】

- ・重点目標の焦点化による、業務内容の精選・統合
- ・会議・研修内容の見直しと業務の効率化による勤務時間の適正化

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目標 指 す 児 童 の	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 話す人の方を見て、話の内容を考えながら聞いたり、自分事として聞いたりするよう指導する。 ② 「まず」「次に」「なぜなら…だからです」などの言い方を使った伝わりやすい話し方を指導する。話合いの際には、観点を明確にするなど、言語活動の充実を図る。 ③ 子供に分かる言葉で学習のめあてを明確にし、児童が意欲をもって学習に取り組めるよう、教材研究を充実させる。		【達成状況】 【次年度の方針】

姿	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 社会生活を営む上で必要な人権に関する知識・技能・態度などを身に付けられるよう全教科において計画的に学習できるようにし、思いやりやルールを守る心を育てる。 ② 道徳の時間を中心に、道徳的な判断力や心情、実践意欲や態度を養う。 ③ 田植えや稲刈り、ブルーベリー栽培など、緑体験活動を通して豊かな感性を育み、自然や命を大切にし、他を思いやる心を育てる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 85%以上	① 「学習のきまり」「生活のきまり」「月別の重点目標」を基に生活目標を設定し、基本的生活習慣や学習習慣の定着を図る。 ② 時間を守って行動できるようにする。生活当番を中心に、校舎内外での声掛けを実施する。 ③ 水道やトイレの使い方、廊下の正しい歩き方について全職員で重点的に指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 児童会を中心としたあいさつ運動を継続的に行う。(呼びかけ・ポスター・ゲーム・集会・表彰など) ② 学級ごとにあいさつを推進する取り組みを行う。 ③ 家庭・地域への啓発活動を意図的に行う。(長期休業中のあいさつカードなど)	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 学期始めの目標の設定の際には、児童の言葉で、具体的な目標を立てるように支援する。また、学期途中や学期末での振り返りを必ず行い次の学期や学年につなげるように支援する。 ② 帰りの会や学級活動、道徳の時間等で頑張っている児童を認め、称賛する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 歯磨き指導を充実させ、歯磨きの定着を図る。 ② 長期休業中に、歯磨きカレンダーを配布し、家庭に対して歯磨きの啓発を図る。 ③ 病気の予防のため、うがい・手洗いの励行をする。 ④ 健康診断の結果を配付し、早期治療を勧める。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① キャリア教育を推進し、様々な業種から講師を招くことで、多様な職業にふれる機会を作る。 ② 児童が自分の良さや特徴を知ることができるよう、学級活動や道徳の時間の内容を工夫する。 ③ みどり活動と連携し、地域に花を届ける活動を充実させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 外国語活動の授業時に、ALTと協力して児童に興味をもたせながら授業を進め、英語に対する理解度を常に確認し児童の様子に合った声掛けをする。 ② 教師が言葉の学習の代表として話す姿を示したり、間違っても大丈夫という環境をつくったりして、安心して英語を使ったやりとりができるようにする。 ③ 児童同士が英語を使ったやりとりができる学習活動を取り入れ、コミュニケーションを取りやすい学習環境を設定する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、宇都宮市のよさを知っている。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 80%以上	① 学校行事や地域の行事、生活科・社会科・総合的な学習の時間などで、国本地区や宇都宮市の良さを知る活動を積極的に取り入れる。 ② 本市が「宇都宮の歌」を作った経緯や歌詞の意味などを学年に応じて分かりやすく教えた上で、お昼の校内放送で「宇都宮の歌」を毎日流す。 ③ 本市は県内で唯一の小中学校数が増加し続けている市であり、「餃子の街」として全国的によく知られていることや、人口50万人以上の市を対象とした「住みよさランキング」(東洋経済新報社)で4年連続日本一となっていることなどを折に触れて話題にする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート「児童はパソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 図書館利用年間計画をもとに見通しをもって、図書を活用する。 ② ICT機器を活用できそうな教科・単元を洗い出し、各学年で年計に書き込み、情報を共有する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 道徳の時間に思いやりの心を育む。 ② 総合的な学習の時間に、高齢者体験等を行い、高齢者に対する理解を深める。 ③ 運動会などの行事に高齢者を招待し、児童とふれあう機会を作る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 80%以上	① みどり活動を通して、自然環境に目を向け自然を守り育てる意識を高める。 ② 稲作活動を通して、自然の豊かに触れるとともに自然の恵みに感謝する心を養う。 ③ 職員の読み聞かせにおいて、環境や国際理解にかかる書籍を意図的に選択して行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 児童は、家庭学習に進んで取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「家庭学習に進んで取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 「家庭学習のすすめ」を活用し、その学年で身に付けてほしい学習習慣について、児童や保護者に明確に示す。 ③ 家庭学習の重要性について、学校便りや学年便り、学級懇談会等と呼びかけ、保護者の理解と協力を得る。 ④ 「家庭学習振り返りカード」を活用して、家庭学習の意識化を図り、進んで家庭学習に取り組もうとする意欲をもてるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
目指す学校の	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 特別な支援を必要とする児童に対し、個別の支援計画を作成し、関係する教職員や保護者と情報共有をして支援の方向性を明確に示す。 ② 教育相談などを通じて、児童や保護者に寄り添った支援ができるようにする。 ③ 必要に応じて校内支援委員会を開き、かがやきルームやセンターとの連携を図っていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 定期的に児童の実態把握に努め、いじめの防止や早期発見に努める。 (アンケート調査を年5回実施する。教育相談は年2回実施する。) ② 学校だより・学年だより等でいじめアンケート調査の実施や教育相談などの学校の取り組みを保護者に知らせる。 ③ 道徳の授業公開をする際、いじめ防止を扱った内容を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人への児童を大切にし、児童がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上	① 認め励まし合う場面を授業の中に設定し、どの児童にとっても自分の居場所となるような温かい雰囲気学の学級経営に努める。 ② 児童の表情を読み取り、挨拶・励まし・称賛等の言葉かけを行うよう心がける。 ③ 報・連・相を大切にし、全教員でかわり、必要に応じて、早めに関係機関と連携を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 教職員が異文化への広い知識と理解を率先して身に付け、児童が世界の誰とでも仲良くなれるような国際感覚を養う。 ② 道徳やその他の授業を通して、人権感覚や国際感覚を育てる。 ③ 職員自ら語学研修に励むとともに、関係機関と提携し、実態に応じて日本語指導の時間を設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は、今の学校が好きです。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童がより主体的に関わることができるよう改善を図り、地域の特色を生かした教育活動の充実をめざす。 ② 縦割り班活動や異学年交流を充実させ、明るくいいきとした学校づくりを目指す。 ③ 話し合い活動を充実させ、活気ある学校づくりを目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】

A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 学習のねらいとまとめを明確にしたわかる授業を実施する。また、I C Tやタブレットの活用も推進する。 ② 児童の実態を把握し、習熟度別学習やT・T（ティーム・ティーチング）、かがやきルームでの学習など多様な指導方法を活用し、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 公開授業及び研究会や校内研修の実施などを通して、教員の指導力向上に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 教員と専門スタッフが、互いの専門性を生かしながら切磋琢磨し、学校全体の教育力向上に努める。 ② 地域の人的・物的資源を積極的に発掘、有効活用し、地域との連携・協働体制を整え、チームとして教育活動の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① P D C Aサイクルを確立し、学校行事の精選や練習時間の効率化・短縮化を図る。 ② 校務分掌内の役割分担を明確にし、分掌内等で互いに補い合うなど業務の平準化に努める。 ③ リフレッシュデー等の活用や出退勤記録による時間管理を通して、教職員一人一人が勤務時間に対する意識を高め、自身の働き方を見直す。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園全体研修会等の機会を活用し、部会ごとの重点目標に向けて各校が連携・協力して指導にあたる。 ② 部会の活動内容について報告会を開催するなどして、地域学校園の取組について共通理解を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 地域の人的・物的資源、自然や産業等を生かした体験活動、農園活動、高齢者との交流活動など、本校独自の教育活動を積極的に展開する。 ② 地域の教育力や地域の方々が関わっていることを、機会をとらえて日常的に児童に伝えたとともに、学年便り等で積極的に情報を発信する。 ③ 児童が活動の成果を発表する機会を充実させるとともに、行事の振り返りの場を設け、活動の様子や振り返りカードを校内に掲示するなど、満足感や成就感を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 関係諸機関と連携・協力し、児童の安全を確保する。 ② 地域協議会と連携し、地域の施設やボランティア人材のさらなる活用により、教育活動の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 職員で分担し、月1回校舎内外の安全点検を丁寧に実施する。 ② 異常を発見した場合には、早急に担当者に連絡し、修理等に迅速に対応する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート「児童はパソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 校内でタブレットを活用できるよう無線ＬＡＮとルーターを校舎内に設置する。 ② タブレット及び電子黒板を活用した授業を公開し、教員の指導力向上に努める。 ③ 図書の計画的な購入をする。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	B2 学校は、栽培・緑化活動を通して、自然体験や体験的な学習を推進している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、栽培・緑化活動を行い、自然に親しんでいる」 ⇒地域の肯定的回答 80%以上	① 全校生で「みどりの少年団」に参加し、教科との関連を図りながら、緑化活動を推進する。 ② 地域の教育力を授業に取り入れるなど、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
-----------	--	---	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。